

日本生殖免疫学会雑誌 投稿規定

(目的・資格)

1. 本誌は日本生殖免疫学会の機関誌であり、生殖免疫学に関係のある投稿原稿などを記載する。
2. 投稿原稿の著者には本会の会員が含まれること。
(投稿原稿の体裁)
3. 投稿原稿は日本語または英語とし、投稿原稿作成要領に従って作成すること。
4. カラー印刷は実費を著者負担とする。
(投稿原稿の提出)
5. 投稿原稿は3部提出する(2部はコピーでよい)。
(投稿原稿の採否・掲載・返却)
6. 投稿原稿の採否は、審査員の審査を経て、編集委員会が決定する。
7. 掲載の順序や論文の体裁は編集委員会が決定する。

8. 掲載原稿は原則として返却しない。
(校正)
9. 校正は初校のみ著者校正とする。
(別刷)
10. 別刷は実費を著者負担とする。
(著作権)
11. 本誌に掲載された論文の著作権は、日本生殖免疫学会に帰属する。
(投稿原稿の送付先)
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 南研究棟3階
東京大学医学部 産婦人科医局内
日本生殖免疫学会雑誌編集事務担当
藤井知行・永松 健 宛
TEL 03-5800-8657 FAX 03-3816-2017
E-mail: tnag-ky@umin.ac.jp

投稿原稿作成要領

1. 原稿は、原則としてワードプロセッサを用いて作成する。A4版の用紙を用い、1ページ25行、横書きを標準とする。上下左右に3cmの余白をとる。
2. 論文第1ページには、1) 表題、2) 著者姓名、3) 所属機関名、4) 所在地を書く。本文が和文の場合は、英文訳もつける。
3. 英文の表題は最初の語の頭文字だけ大文字にする。
4. 著者が異なる機関に所属する場合は、著者名を連記し、その右肩に肩付きアルファベットを付し、各アルファベットごとに所属機関とその所在地を記す。
5. 論文第2ページには、1) 要旨と2) キーワードを記述する。
6. 本文は原則として、1) 緒言、2) 材料および方法、3) 結果、4) 考察、5) 謝辞、6) 引用文献の順に記載する。
7. 本文の主見出しは行の中央に置き、ゴシックとする。副見出しはイタリックとし、左端から記す。
8. 図および表は、一つずつを1ページに記し、本文原稿中に入れないで別に綴じる。そして、本文の図表の挿入箇所を本文原稿右欄外に赤字で指定する。
9. イタリック、ゴシックなどの活字指定、 α 、 β などのローマ字以外の文字、肩付けや下付けなどの文字は、赤字で指示する。
10. 計量単位は原則としてメートル法とし、SI単位を用いる。
11. 本文に略字、略号を使うときには、初出時に正式名称とともに記載する。
12. 図および表は、幅15cmまたは7.5cmにおさまるよう縮小されること考慮して作成する。
13. 図および表の脚注はアルファベットを肩付けする。
14. 図および表は、直ちに製版できる完成したものを作成する。
15. 図の表題、脚注は原図に書かず、別のページにまとめる。
16. 図および表を、本文中に引用する場合は Fig. 1 および Table 1 のように書く。
17. 文献は引用したものに限る。
18. 本文中における文献引用の形式は番号とし [1] のように書き、引用順に記載する。
19. 雑誌の引用は、著者名、年号、論文表題、雑誌名、巻、ページの順に記す。
例)
1) Reijo R, Alagappan RK, Patrizio P and Page DC. 1996. Severe oligozoospermia resulting from deletions of azoospermia factor gene on Y chromosome. Lancet. 347: 1290-1293.
20. 単行本の引用は、著者名、年号、引用した章や項の表題、編集者名、書名、引用したページ、発行書店名、その所在地の順とする。
例)
2) Tracey KJ and Cerami A. 1992. Tumor necrosis factor- α . In: Roitt IM and Delves PJ (eds.) Encyclopedia of Immunology. pp. 1522-1524. Academic press, London.
21. 最終原稿はワードプロセッサで作成されたファイルとともに送付する。ファイルはMS Wordで作成するか、それ以外はテキストファイルにして、CD-ROMまたはメールで送付する。